

草刈り十字軍

山の自然を守り、植林地の除草作業から林地除草剤を追放するため、一昨年、富山県の一人の先生の呼びかけで、草刈り十字軍が結成された。多くの青年が山に入り、先生の指導の下に200ヘクタールの下草刈りに汗を流した。私は一林業人として、この快挙に感動を覚えずにはいられなかった。

しかし、卒直に私見を述べさせていただければ、わが国で年々必要とする200万ヘクタールの下草刈りを全て人力で行うことは、山村に残る林業従事者の動向から考えて、すでに不可能なのではないか。かくれた所の刈り残しや適期に行われなかった植林地があるように思われる。精神運動としての草刈り十字軍の意義は認めるが、林業経営の立場からは、機械や除草剤による雑草処理は避けられない。

近頃、自然保護の声の高まりから、森林は手をつけずに自然のままに保つのが、最善の途である……とする意見をしばしば耳にするが、森林はもっとも自給率の高い再生産の可能な資源であり、その合理的な活用によって、国民の求めている木材をできるだけ多く生産することが望ましい。そのため、林を育て、山を保護する手段として、林地除草剤や最近問題となっているマツタイムシ防除のためのMEP剤の空中散布なども、次善の方法として認められてよいのではなかろうか。

たしかに、農薬は万能ではない。その功罪の限界を充分わきまえて、さらにより薬剤の開発と合理的な使用法の研究を進めたいものである。

〔財団法人 日本植物調節剤研究協会理事 加藤善忠〕
〔社団法人 日本林業技術協会主任研究員 加藤善忠〕

目次 (第11巻第2号)

ブラジルの自然と農耕地雑草……………	2
<宇都宮大学農学部教授 竹松哲夫>	
(イ) はじめに……………	2
(ロ) ブラジルの自然 …(温帯～亜熱帯) ……………	2
(ハ) ブラジルの自然 (熱帯域) ……	3
(ニ) ブラジルの農業政策と経営形態……………	3
(ホ) 南米(主としてブラジル)からの帰化雑草……………	5
(ヘ) ブラジルの農耕地雑草……………	6
(ト) ブラジルにおける牧野の雑草、雑木、雑草……………	8
(チ) ブラジルの除草剤……………	8
陸稲栽培と雑草防除……………	9
<宮崎県総合農業試験場 中原浩二>	
まえがき……………	9
1. 陸稲の栽培……………	9
2. 雑草発生の消長……………	10
3. 雑草の発生量……………	11
4. 陸稲に供試した除草剤……………	11
5. 主な除草剤の除草効果……………	13
6. 降水量と除草効果……………	14
7. 雑草防除効果をあげるために……………	16
むすび……………	17
外国文献抄録……………	17
新登録除草剤一覧……………	19
新登録生育調節剤一覧……………	20